

# ビワ生育情報

第 4 報  
千葉県農林水産部  
令和 8 年 1 月号

「楠」、「大房」、「田中」とともに 12 月 1 日時点では開花が平年より遅れていましたが、12 月の気温が平年より高く推移したため開花が進み、「田中」の開花終期は平年よりやや早く、開花期間が短かったです。

## 花房の発育

ビワの開花期を表 1 に示した。暖地園芸研究所の開花始期は、「楠」が 11 月 16 日で、平年より 8 日、前年より 4 日遅かった。「大房」が 12 月 5 日で、平年より 11 日遅く、前年より 9 日遅かった。「田中」が 11 月 17 日で、平年より 6 日遅く、前年より 3 日遅かった。開花盛期は、「楠」が 12 月 5 日で、平年より 10 日遅く、前年より 4 日遅かった。「大房」が 12 月 20 日で、平年より 3 日遅く、前年より 5 日早かった。「田中」が 12 月 13 日で、平年より 12 日遅く、前年と同日であった。開花終期は、「楠」が 12 月 29 日で、平年より 6 日遅く、前年より 1 日遅かった。「田中」は 1 月 3 日で平年より 4 日早く、前年より 13 日早かった。「大房」は 1 月 5 日時点で開花終期に至っていない。

12 月 1 日時点では花房の発育及び開花が 3 品種とも遅れていたが、12 月は気温が平年より高く推移したことから、開花が進んだ。今後の気象にも影響を受けるが、現時点では「大房」の開花の進みは平年並みと思われる。

表 1 ビワの開花期（暖地園芸研究所）

品 種	開花始期（月．日）			開花盛期（月．日）			開花終期（月．日）		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	11. 16	11. 8	11. 12	12. 5	11. 25	12. 1	12. 29	12. 23	12. 28
大 房	12. 5	11. 24	11. 26	12. 20	12. 17	12. 25	—	1. 27	1. 28
田 中	11. 17	11. 11	11. 14	12. 13	12. 1	12. 13	1. 3	1. 7	1. 16

平年：平成 7 年～令和 6 年の 30 年間の平均

開花始期：花房の 10%が開花、開花盛期：花房の 50%が開花、開花終期：花房の 90%が開花

## 令和 7 年 12 月の気象

令和 7 年 12 月の半月別の気象を表 2 に示した。平均気温は第 1、第 4、第 5、第 6 半月は平年より高く、第 3 半月は平年並み、第 2 半月は平年よりも低かった。月平均気温は 10.2℃で、平年より 1.2℃高く、前年より 0.6℃高かった。

氷点下日数は 1 日であった。最低極温は第 3～第 5 半月は平年より高く、第 1、第 2、第 6 半月は平年よりも低かった。

降水量は第 3、第 5 半月は平年より多く、第 4 半月は平年並み、第 1、第 2、第 6 半月は平年より少なかった。月合計は 93.5mm で平年の 105%であった。

日照時間は第 1、第 2 半月は平年より多く、第 3、第 4、第 6 半月は平年並み、第 5 半月は平年より少なかった。月合計は 168 時間で平年の 102%、前年の 75%であった。

表 2 令和 7 年 12 月の気象(アメダス館山市)

半月	平均気温（℃）			氷点下日数（日）			最低極温（℃）		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	12.3	10.8	13.0	0	0.1	0	1.6	3.6	4.7
2	9.5	10.0	10.8	0	0.2	0	0.4	2.2	2.6
3	9.3	9.2	8.2	0	0.5	1	3.4	1.9	-0.6
4	9.7	8.6	8.2	0	0.8	2	2.0	0.7	-2.2
5	11.8	8.0	8.3	0	0.8	2	3.9	0.7	-0.7
6	8.4	7.5	9.4	1	1.7	1	-1.0	-0.7	-1.6
平均/計/最小値	10.2	9.0	9.6	1	4.1	6	-1.0	-0.7	-2.2

半旬	降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	0.5	20	0.0	34	25	43
2	0.0	17	0.0	37	25	40
3	40.5	13	1.5	25	26	32
4	10.5	12	0.0	27	27	34
5	40.0	13	3.0	11	28	37
6	2.0	15	0.0	34	35	38
計	93.5	89	4.5	168	165	223

平年：平成3年～令和2年の30年間の平均

最低極温：各半旬あるいは12月中に記録した最低気温

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

## 2月の作業

1月中旬～2月上旬は1年間で最も寒い時期である。本年の開花は12月1日時点では平年よりも遅れていたが、12月の気温が平年より高く咲き進んだ。そのため、寒害を受けやすい圃場や品種等では寒波に十分注意し、必要に応じて被覆資材で樹体を覆ったり、園内をヒーターにより加温する等の対策を行う。

## 苗木の植え付け

ビワの苗木の植え付けは、発芽直前で根の活動が緩慢な2月中下旬が適期である。苗木は根鉢を崩さないように、土を付けたまま移植すると植え傷みが少ない。

植穴は直径1～1.5m、深さ40～50cmの穴を掘り、穴の底に完熟堆肥を入れる。土の埋め戻しは土が落ち着くときの沈下を見込んで地表面から30～50cm高くなるよう盛り土をする。定植後は苗木に支柱を添え、十分にかん水した後、盛り土が乾かないように敷きわらをしておく。

## がんしゅ病の予防散布

がんしゅ病は一度発生すると防除が難しいため、感染防止を目的として、春枝の新葉展開期の3月上中旬に銅剤の散布を行う。薬剤散布は幹、枝及び葉に薬液が十分付着するように行う。薬剤散布に当たっては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に従う。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室  
電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>